



報道関係者 各位

令和8年6月30日

ウィーン医科大学

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

オーストリア・ウィーン医科大学と医薬品医療機器総合機構（PMDA）の
連携に係る覚書の締結について
— レギュラトリーサイエンス分野の人材育成を強化 —

オーストリア・ウィーン医科大学（Medical University of Vienna）と独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）は、レギュラトリーサイエンス分野における連携を進めるための覚書（Memorandum of Understanding：MoU）を2026年6月30日に締結しました。

本 MoU は、両機関がそれぞれの強みを活かしながら、研究及び人的交流等において連携・協力を進め、レギュラトリーサイエンスの発展に貢献することを目的としています。

本連携は、PMDA の人材力強化に関する新たな連携の枠組みである「RS アライアンス協定（Alliance for Regulatory Science Advancement; ARSA）」の一環として実施されるものです。この枠組みでは、PMDA が国内外の大学や研究機関と協働し、実務に直結した高度な研修や共同活動を展開することで、次世代のレギュラトリーサイエンス人材の育成を推進していきます。

ウィーン医科大学は、欧州を代表する医学研究・教育機関の一つであり、生物統計や革新的な臨床試験デザインの分野において優れた研究実績を有しています。本連携では、同大学の Center for Medical Data Science と PMDA 生物統計領域が中心となって活動を進めることとしており、国境を越えた人材交流や共同活動を展開します。PMDA 職員は、国際的に活躍する研究者との協働を通じて、既存の専門性を基盤としつつ、最先端の解析手法や研究知見を実践的に吸収し理解をさらに深化させることで、生物統計領域における専門性のより一層の高度化を図り、国際的な研究環境での実務経験を蓄積していく予定です。さらに、得られた知見や経験を PMDA 内の業務に展開することで、科学的根拠に基づく審査・安全対策のさらなる質の向上につなげ、人的ネットワークの構築を通じて組織としての国際連携基盤の強化にも寄与することが期待されます。

また、本連携により、ウィーン医科大学においても、国際的なレギュラトリーサイエンス分野における知見の強化や国際的なネットワークの拡充が期待され、特に Center for Medical Data Science での医薬品開発における規制判断に資する統計手法の研究の推進に寄与することが期待されます。



(参考) ウィーン医科大学について

ウィーン医科大学 (Medical University of Vienna) は、欧州を代表する医学研究・教育機関の一つであり、欧州有数の規模を誇る大学として、多数の研究者・医療専門職を擁し、基礎研究から臨床研究まで幅広い領域において優れた研究実績を有しています。特に Center for Medical Data Science は、医療及び規制判断に資する統計並びに臨床研究方法論の分野において国際的に高い評価を受けており、その研究は欧州の医薬品開発や臨床研究の発展に重要な役割を果たしています。

同大学の詳細については、以下をご参照ください。

<https://www.meduniwien.ac.at/>

【お問合せ先】

Medical University of Vienna, Head of Corporate Communications

Spitalgasse 23, 1090 Vienna, Austria

Tel: +43 (0)664 80016-11501

Email: presse@meduniwien.ac.at

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 研究管理部

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

Tel : 03-3506-9573

E-mail: rs-cpa@pmda.go.jp